

1. 都心軸空間デザインプランとは

(1) 策定の背景と目的

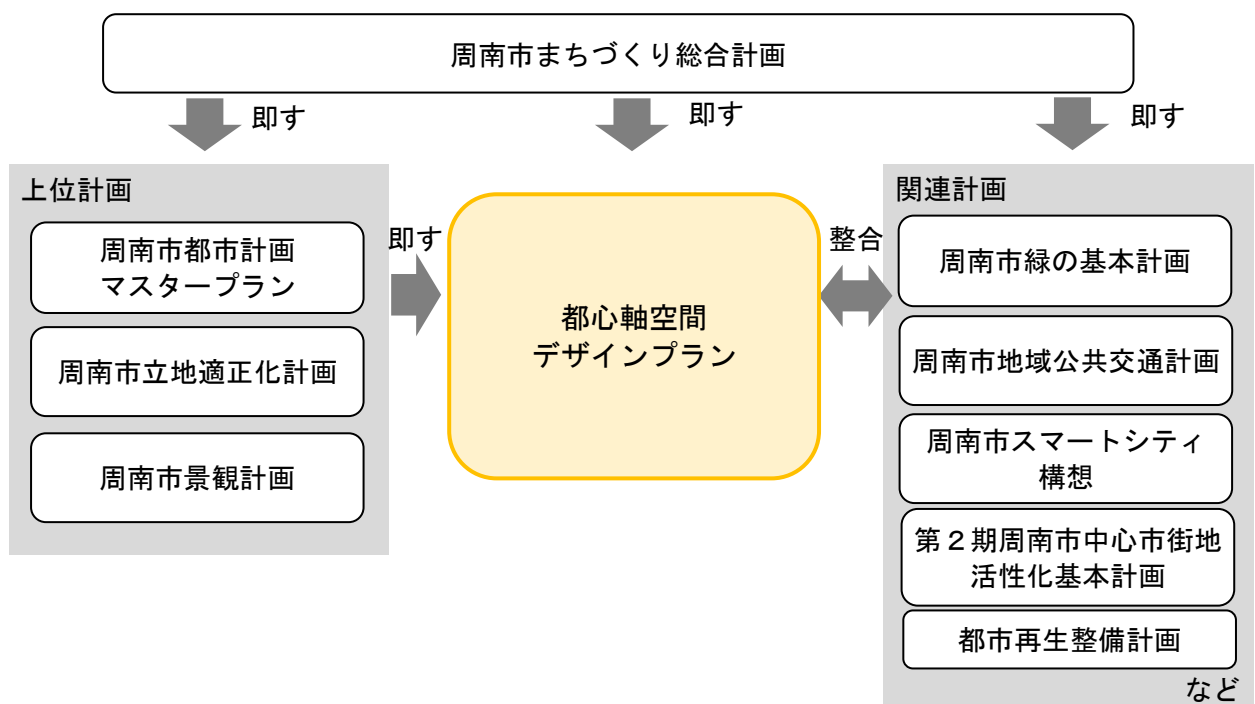
都市計画マスタープランでは、徳山港～徳山駅～市役所～徳山公園までの区間を「都心軸」として位置づけ、周南地域の中心都市にふさわしい拠点性の向上や都市としての魅力向上を図ることとしています。

都心軸には、動物園など自然、文化を感じられる空間や商店街などショッピング、食事を楽しめる空間、また、それらをつなぐ徳山駅や豊かな道路空間などの多様な空間があり、あらゆる世代、あらゆる目的を持った人を受け入れることができます。一方、空き地や空き家等の低未利用地が散発的に発生する「都市のスポンジ化」の進行や、立地適正化計画に定める都市機能を誘導すべき区域の効率的な土地利用など、課題を多く抱えています。

本プランは、あらゆる世代、あらゆる目的をもった市民のライフスタイルを実現するため、都心軸の将来像（ビジョン）を明らかにし、公民連携でビジョンを共有しながら課題解決に向けた多様な施策を取りまとめ、都心軸形成の具体的かつ現実的な取り組みを進めることを目的としています。

(2) 本プランの位置づけ

上位計画であるまちづくり総合計画や都市計画マスタープラン、立地適正化計画、景観計画に即した計画として位置づけるとともに、緑の基本計画、地域公共交通計画などの関連計画との整合を図ります。また、本プランは、都市計画マスタープラン、立地適正化計画などの上位計画と中心市街地活性化基本計画、都市再生整備計画等の事業計画をつなぐ役割を果たすものです。

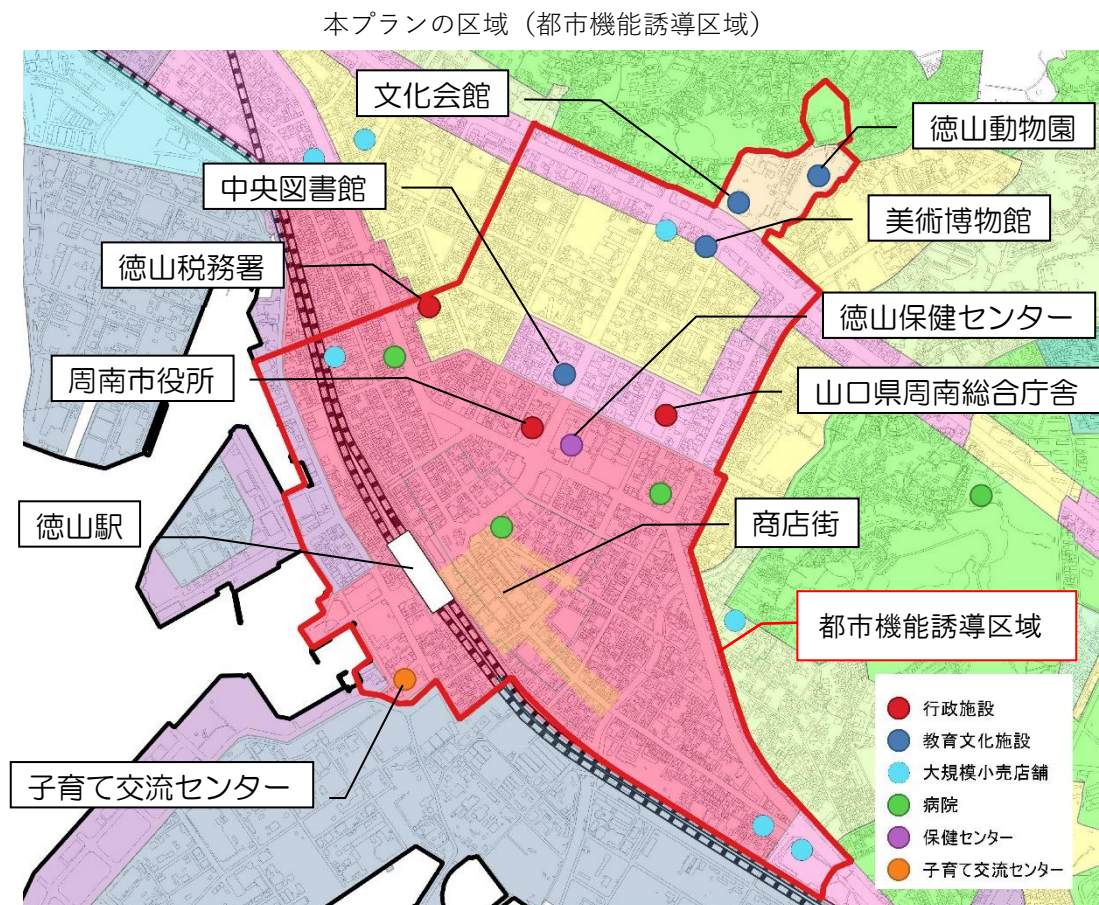


(3)目標年次

上位計画である立地適正化計画の計画期間と同じ、2035 年度を目標年次とします。

(4)本プランの区域

都心軸を中心としたエリアの価値と持続可能性を高め、都市機能の集積や適切な土地利用、景観形成など包括的に検討し、施策を取りまとめるため、対象区域は、立地適正化計画で設定している徳山駅周辺の都市機能誘導区域とします。



資料：周南市立地適正化計画